



よつば



令和2年度 楯山小学校だより 「2学期アルバムその1」 NO. 10 文責 神保 由美



大岡山登山

10月15日（木）創立記念日の伝統行事

小学校最後の大岡山登山

6年 菊池 優希さん ゆうき

私が小学校最後の大岡山登山で頑張ったことは、2つあります。

1つ目は、無事登り切ったことです。急な坂や長い登りなどがあつたけれど、去年ほどには息切れしなかったし、自分も班の人も、けがなどしなくてよかったです。

2つ目は、班をまとめられたことです。去年より余裕があつたので、その分班の人を気づかえたり、班の人に合わせて少し遅く歩いたり、途中で休んだりしながら登りました。下りるときは、危険なので、声かけをしてゆっくり下山することができました。

これが小学校最後の大岡山と思うとさみしいけれど、こうしてみんなと登れてよかったです。



大岡山登山の楽しみ

6年 稲村 文香さん ふみか

私は、大岡山に登ったことで、学んだことがあります。

1つ目は、班の3～6年生が協力することです。みんなで協力することは、楽しいし、大切なことだと思います。

2つ目は、自然を観察したことです。秋の大岡山には、いろいろな種類の植物やキノコがたくさんありました。特に心に残っているのは、大きいドングリが道にたくさん落ちていたことです。次に心に残ったのは、キノコです。木の根元のところに生えていて、後ろにいた3年生の樋口孝之佑君が名前を知っていました。私はキノコのことをよく知らないで、びっくりしました。

一番楽しかったことは、頂上で弁当を食べたことです。頂上は寒かったけれど、弁当がおいしく感じられました。これからも、興味をもったことをどんどん調べていきたいです。



登山で感じる成長

6年 加藤 優空さん ゆうあ

今年はコロナウイルスの影響で、5月に登山を行うことができませんでした。大岡山には、創立以来120年間、全校生徒が登ってきました。私たちも、6年生まで登ってきました。私は、大岡山は何千人もの楯山小の生徒の頑張り、勇気、努力をずっと見てきたのだということがわかりました。

当日は元気いっぱいに登り始めましたが、頂上に着く頃には疲れ、下山するときは時間が短いように感じました。努力がなければ、大岡山に登り切ったり、下山したりすることはできません。私は、中学生になってからもう一回登ってみて、頂上に着く時間が短くなっていたら、成長できていることが分かるのではないかと考えています。



みちがくねくね 1年 武田 琉希さん

1ねんせいと2ねんせいで、七まがりまでいきました。とちゅうでみちがさかになって、のぼりにくかったです。おべんとうがおいしかったです。土がかわいていて、すべりました。

みちがくねくねで、おもしろかったです。かえりに、どんぐりがあってひろいました。のぼれてうれしかった。



大おか山にのぼったよ 1年 菊地 一翔さん

ぼくは、大おか山にのぼりました。1ねんせいから6ねんせいと、おかあさんがたやおとうさんがたと、せんせいといきました。6ねんせいたちは、てっぺんまでいってすごいとおもいました。1ねんせいと2ねんせいは、とちゅうまでのぼりました。

とちゅうのところでべんとうを食べました。おいしかったです。とくにデザートシャインマスマット、いちごのチーズ、うまいぼうコーンポタージュあじがおいしかったです。2ねんせいになったら、またいきたいです。

大おか山のとちゅうのけしきは、きれいでした。学校がちっちゃくみえました。

すこしだけ・・・ 1年 高橋 永愛さん

わたしは、大おか山にいきました。さかのところをのぼるとき、さかのすながくずれてきて、ころびそうでした。はじめて大おか山にのぼったから、よるすこしだけあしがいたくなりました。

2ねんせいがいたから、あんまりこわくもなかったけど、2ねんせいがたすけてくれてうれしかったです。おひるごはんを食べ終わったとき、すこしだけあそべてたのしかったです。もうすこしだけ、あそびたかったです。

かえりのとき、とちゅうでみんなそれぞれかえっていったから、すこしだけさみしかったです。

初めての大岡山登山（七曲峠まで）に臨んだ1年生と、小学校では最後の登山で大役を果たした6年生の日記を紹介しました。

当日、山新ヨモリキャバークの取材のために、登山に同行した江袋記者が特集記事に付けたタイトルは「今年も来たよ、ぼくたちの山」。子どもたちの思いそのままと感心しました。

下見や登山道整備のために先だって足を運んでくださった大岡山に関わる地域の皆様やPTA役員の皆様、おやつの差し入れを手を激励に駆けつけてくださった地元の方、当日の登山に参加くださった多くの保護者の皆様、本当にありがとうございました。

お待ちかねの弁当タイム！

